

PROSPECC

デジタルビデオエディター

DVE783

取扱説明書

-
- ◆故障かな?と思ったら--- 29~30
 - ◆Q&A----- 30

故障かな?と思ったら-使用中のトラブルと回避方法-

故障かな?…とお思いの時はアフターサービスをご依頼になる前に、つぎの点をお調べください

●映像が白黒になる

- ・本体横のS/Cスイッチは正しくセットされていますか。映像ケーブル全てがS端子ケーブルの場合、必ずS/Cスイッチを「S側」にしてください。映像ケーブル全てが専用接続ケーブルDVE002の場合、必ずS/Cスイッチを「C側」にしてください。
- ・S端子ケーブルとDVE002を混合して使用すると、映像が白黒になります。必ず映像ケーブルは全て同じ種類のものを使用してください。

●再生機器の映像がテレビに映らない。黒またはブルー1色が表示される

- ・録画機の映像入力チャンネルは正しく設定されていますか？
- ・使用している映像ケーブルに断線、接続のゆるみはありませんか？
- ・再生機器からの映像信号が録画機器に伝わっていません。接続を再度ご確認ください。
- ・一部のデッキでは、入力した映像が「セパレート信号(S端子ケーブル使用時)」か「コンポジット信号(ピン端子ケーブル使用時)」かを手動で切り替える必要がある場合があります。その場合はデッキの取扱説明書を確認して正しくセットしてください。

●ワイド映像(16:9)が縦長(4:3)に映る

- ・録画機器及びテレビがワイド識別信号に対応しているかご確認ください。また、記録メディアや記録方式によってはワイド識別信号に対応しない場合があります。録画機器の取扱説明書をご参照ください。

●映像に波がでる

- ・付属品以外のACアダプターを使用すると発生する場合があります。付属品以外のACアダプターは本機の故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。
- ・1つのケーブルタップに他の機器と合わせて接続すると発生する場合があります。ACアダプターはできるだけコンセントに直接接続してください。
- ・一部の接続機器(チューナーなど)との相性により発生する場合があります。弊社にご相談ください。

●映像の色が不自然に薄くなる、変色する、全体的に緑色または赤色っぽくなる

- ・再生機器または録画機器のTBC機能がONになっていると発生する場合があります(TBC機能を有する場合)。再生機器または録画機器のTBC機能をOFFにしてください。
- ・再生機器または録画機器のDNR(デジタルノイズリダクション)機能がONになっていると発生する場合があります(DNR機能を有する場合)。再生機器または録画機器のDNR機能をOFFにしてください。

●映像がブレるまたはゴーストが発生する

- ・再生機器または録画機器のDNR(デジタルノイズリダクション)機能がONになっていると発生する場合があります(DNR機能を有する場合)。再生機器または録画機器のDNR機能をOFFにしてください。

●ビデオデッキ(アナログソース)側で一時停止やスロー再生(特殊効果)をおこなうと、乱れた映像が出力される

- ・アナログソース側で一時停止やコマ送り再生などの特殊効果を加えたものを、本機の回路を通して出力すると、映像が乱れて出力される場合があります。

●DVD-RWには直接録画できるが、DVD-Rには直接録画ができない

- ・HDD内蔵DVDレコーダーの仕様によっては、特定のメディアを使用しての直接録画ができない場合があります。そのような場合は、一旦HDDに録画してからHDD→DVD-Rへ録画してください。なお、これは本機を使用したことによる症状ではありません。詳しくはレコーダーの取扱説明書をご参照ください。

●ビデオキャプチャー使用時、または16:9映像をレターボックス表示したとき、画面下の映像が消える

- ・画面下の映像は処理上カットしていますので故障ではありません。なお、カットされている部分は通常のテレビモニターでは表示されません。

Q&A

Q 映像信号が入力されると録画が開始される録画機器で、タイマー録画をおこなうには？

A 本機のオートパワー機能を設定(10ページ参照)するか、または本機の電源を入れたままにしておきます。再生側から映像が入力されると同時に映像を出力します。

Q レンタルビデオや経年劣化したビデオ(共にVHS)を編集する際の注意点は？

A レンタルビデオは再生する頻度が高くテープ自体が劣化(傷んでいる)可能性がありますので、経年劣化したテープと同様、本機では補正しきれない場合があります。補正できないときは、映像にノイズとして現れます。

Q 同梱されているDVE002以外の映像ケーブルは使用できますか？

A S端子ケーブルが使用できます。なお、S端子ケーブルを使用する場合は本機のS/CスイッチをS側に、DVE002を使用する場合はS/CスイッチをC側に切り替えてください。

Q レコーダーに内蔵された地デジチューナーの映像を、DVEを通して同じレコーダー内のHDDまたはDVDに録画することは可能ですか？

A レコーダーの仕様上できません。レコーダーに内蔵された地デジチューナーの映像を、直接同レコーダー内に録画してから編集することは可能です。

Q 本製品に接続した再生機器及び録画機器の操作方法は？

A 各機器に付属している取扱説明書をお読みいただくか、各機器の製造メーカーのサービスセンターにお問い合わせください。



PROSPEC 株式会社プロスペック

〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-18-2 TEL.03-5369-2791

検査・修理のお問い合わせは

倉敷支社 (月～金曜日 AM10:00～PM12:00 PM1:00～PM5:30 土日祝祭日を除く)

〒712-8061 岡山県倉敷市神田 1-1-11 TEL.086-445-1509

※コレクトコールによるお問い合わせは受付致しかねます。

HomepageURL <http://www.prospec.co.jp/>

ご注意：当社に無断で当取扱説明書の内容、図、写真の全部または一部の複製(コピー)・転用・転載を禁じます。

DVE783-0706-YUM-TL10200